

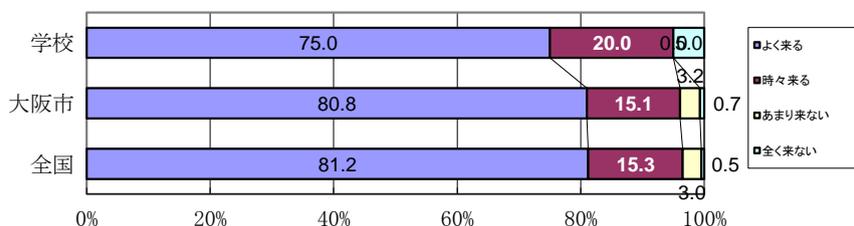
学校・家庭・地域の連携

結果の概要

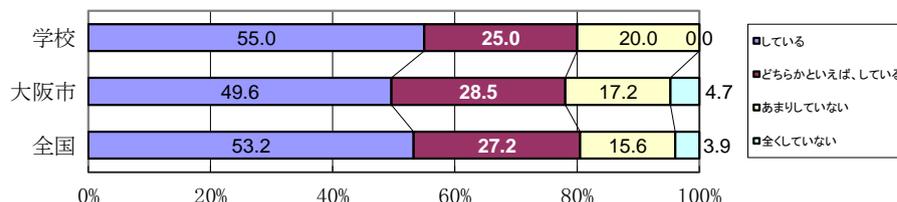
- ・「家の人、授業参観や運動会などの学校行事によく参加する」割合は75%で、全国平均より6.2%下回っている。
- ・「家の人と学校での出来事について話をする」割合は80%で、全国平均と変わらない。
- ・「地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がある」割合は65%で、全国平均より2.1%上回っている。

質問 番号	質問事項
----------	------

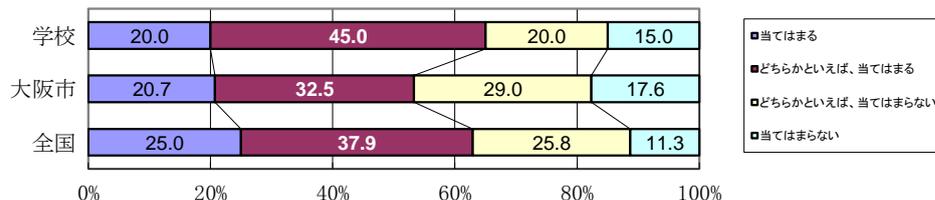
20
家の人(兄弟姉妹除く)は授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか



19
家の人(兄弟姉妹除く)と学校での出来事について話をしますか



30
地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか



成果と課題

学校行事に積極的に参加していただくために、案内状の配布やホームページ等で知らせているので、学校全体としては参加率が大幅に増加している。児童は、学校であった出来事を家でよく話をしており、情報の共有が図られている。地域や社会で起きている問題や出来事にも関心をもち、親子で、友達同士で、先生や地域の人と話題に取り上げ、いろいろな見方や考え方を学んでいる。

今後の取組

- ・ 学校教育活動の中で、地域との連携を図る取組をさらに推進する。
(十三ふれあい農園・地域ふれあい清掃・地域合同防災学習など)
- ・ 「家庭を学びの場に」等のテーマで、家庭での過ごし方について懇談会で話題にし、保護者の方々と共に考える場をもつ。
- ・ 地域の行事を紹介し、一緒に参加したりする。
- ・ 学力向上、体力向上、健全育成を柱に、小中一貫教育の充実に取り組む。